

「ポノリポ子ども物語大賞」 審査員を発表！

ITと教育の出版社、株式会社ジャムハウス（本社：東京都豊島区、代表取締役：池田利夫）と、「子どもと一緒に遊ぶ」知育をサポートする活動を展開してきた株式会社PonoLipo（本社：東京都杉並区、代表取締役：小高美保）は、2022年6月5日より募集を開始し、10月末に締め切りとなる「ポノリポ子ども物語大賞」の審査員を発表しました。

「ポノリポ子ども物語大賞」では、本を読むこと、物語を創作することが好きな小学生向けに、オリジナルの物語作品を公募しています。

応募された作品は、審査の上、大賞、入賞を決定し、賞品を贈呈いたします。選考結果の発表は2023年1月末を予定しています。

○ポノリポ子ども物語大賞

<https://www.jam-house.co.jp/monogatari/>

今回、応募された各作品を審査する審査員が決定いたしましたので、お知らせいたします。

【ポノリポ子ども物語大賞 審査員】

●小高美保（おだか みほ）

筑波大学卒・教育心理学専攻、知育・教育事業を展開する株式会社PonoLipo代表。『小学生のための物語創作ワークブック』をジャムハウスより昨年末上梓。

PonoLipo Shop 自由が丘：<https://ponolipo.com/>

●大山功一（おおやま こういち）

ゲームクリエイター、絵本作家。『ポケモンカードゲーム』のゲームデザイン、スーパーファミコン『MOTHER2』のビジュアルディレクターなどを担当。

●別府章子（べっぷ あきこ）

大学卒業後、児童書出版社の編集部に在籍、長年にわたり内外の児童向け読み物を担当。退社後は、子どもの物語る力に注目している。

●池田利夫（いけだ としお）

筑波大学卒、株式会社ジャムハウス代表。子ども向けIT書など数多く手がけ、自著の『最新版 親子で学ぶインターネットの安全ルール』は教科書に掲載される。

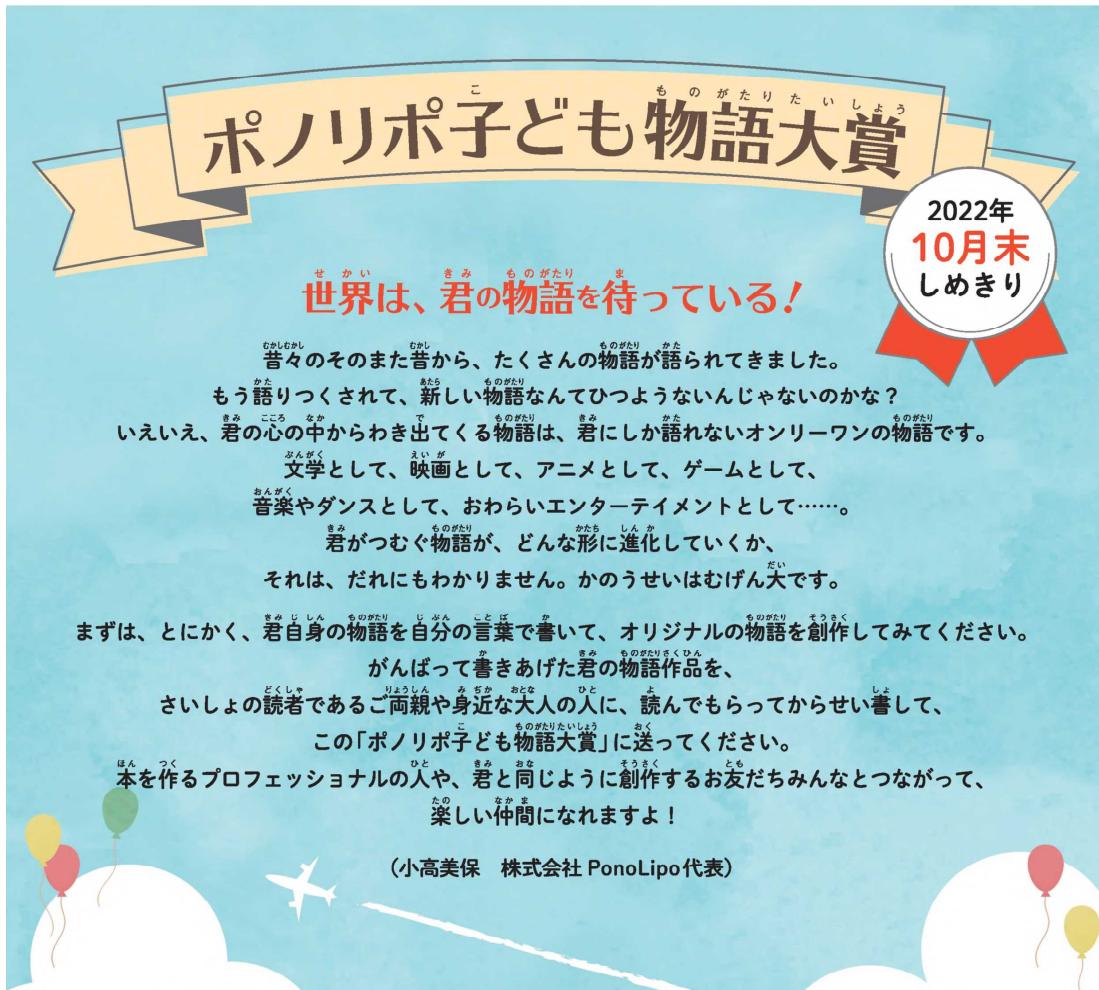
【ポノリポ子ども物語大賞 主催】

●株式会社ジャムハウス

IT書、教育書・児童書を主に刊行する出版社。近年では、プログラミング教育やICT教育の書籍に力を入れ、関連書籍は学校や図書館で採用されるほか、教科書に掲載されるなど、広く評価を受けています。2021年からは、プログラミング教育事業にも本格参入し、子どもたちが学び、創造する力をサポートしています。

●株式会社PonoLipo

「PonoLipo Shop 自由が丘」(目黒区自由が丘2-18-15 1F、TEL: 03-5726-9936) で、子ども向けの英語と日本語の絵本や輸入の知育玩具を販売。「暮らしの中で、楽しく遊びながら知育につなげる」をモットーとし、楽しく、美しく、ドキドキワクワクするような商品をセレクト。また、お店の定休日や閉店時間には、店内でSCRATCHプログラミング、物語創作、英語多読などのマンツーマンでオーダーメイドのワークショップを開催しています。



【会社概要】

商 号： 株式会社ジャムハウス
代表者： 代表取締役 池田利夫
所在地： 〒170-0004
東京都豊島区北大塚2-3-12-302
URL : <https://www.jam-house.co.jp/>

商 号： 株式会社PonoLipo
代表者： 代表取締役社長 小高美保
所在地： 〒167-0052
東京都杉並区南荻窪1-18-4
URL : <https://ponolipo.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ジャムハウス
担当：岡本
TEL : 03-6277-0580
Email : mail@jam-house.co.jp